

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和元年5月

新緑があざやかに映る季節となりました。皆様おかわりなくお過ごしでしょうか。さっそく Newsletter 第15回配信です！ どうぞお楽しみください。

<診療科紹介 泌尿器科>

学生のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。『令和』元年のはじめての配信です。新しい令和の時代を担うみなさまに泌尿器科の紹介をいたします。

泌尿器科はいわゆる『マイナー』に分類されており、学生のみなさんの中には『シモを扱う科』というイメージがあるかもしれませんが。しかし実はその守備範囲は広く、腎臓、副腎、膀胱、前立腺、精巣などを扱います。また、悪性腫瘍、排尿障害、尿路結石、男性不妊、女性泌尿器、小児泌尿器、腎移植など治療分野も多岐にわたり、本当になんでもやります。各科に先んじて開始したロボット手術はすでに泌尿器科のスタンダードとなっておりますし、腹腔鏡などの外科的治療、免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬・抗がん剤などの薬物療法も腫瘍内科にお任せすることなく泌尿器科で治療をしております。

なんとなく手術をしてみたいけど手術だけでは・・・と思う人、内科治療も外科治療もなんでもやりたいという欲張りな人、ロボット手術をしたい人、まだ自分の将来を決めていない方には実は泌尿器科はうってつけです。

高齢化社会を迎えるにあたり泌尿器疾患は年々増加しており、泌尿器科の重要性は高まっています。泌尿器科医師はまだ少ないため、今後みなさんの力が必要とされている診療科です。

自治医大は様々な出身大学の医局員が目標に向かい、藤村教授のもと一丸となって臨床、研究、教育に取り組んでいます。また、自治医大は全国的にも珍しい成人泌尿器、小児泌尿器、腎臓外科の3部門から成り立っており、各部門のスペシャリストが揃っているので質の高い研修が受けられます。ぜひ一度見学にいらっしゃってください。心よりお待ちしております。



【医師国家試験予想問題】

【問題 1】正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 不妊の原因は女性側にのみ要因がある場合が約80%と多い。
- b. 男性不妊症の原因として、造精機能障害が最も多い。
- c. 高度な乏精子症や無精子症では、染色体検査が行われる。
- d. WHOの不妊症の定義では、「避妊を行わない性行為によって、少なくとも24カ月経過しても妊娠に至らない場合」である。
- e. 精液検査を自宅で採取する場合は精液回収後に速やかに冷却して2時間以内に検査を行うことが重要である。

解答：b、c

解説

×a：不妊の要因はそれぞれ男性側24%、女性側41%、男女とも24%、原因不明11%でとされている。

○b：造精機能障害が82.4%、精路通過障害が3.9%、性機能障害が13.5%である。

○c：クラインフェルター症候群などの性染色体異常のチェックが必要である。

×d：少なくとも12カ月経過しても妊娠に至らない場合に不妊症と定義されている

×e：冷却すると精子が死滅する。病院で精液検査するのが好ましいが20-30℃に保持できれば自宅で採取して2時間以内ならば病院と同様の結果が得られる。

【問題 2】78歳男性。以前から尿の出にくさを自覚していた。最近頻尿となり、さらに尿失禁を認めるようになったため受診。尿所見は、尿蛋白(－)、尿糖(－)、尿沈渣所見は、赤血球5-9/高視野、白血球10-19/高視野であった。また、血清クレアチニン値の異常も認めた。この患者に関して適切でないのはどれか。1つ選べ。

- a. 残尿過多を認めた。
- b. 両側の水腎症を認めた。
- c. 尿失禁に抗コリン剤の投与が有効であった。
- d. 経尿道的前立腺切除術によって劇的な症状の改善をみた。
- e. 尿道カテーテル留置により血清クレアチニン値が低下した。

解答：c

解説

排出障害による溢流性尿失禁ならびに腎後性腎不全の状態である。抗コリン剤は過活動膀胱に伴う切迫性失禁に対する治療法であり、抗コリン剤は副作用として残尿が認められるのでこの場合には不適切な治療になる。